

資料 3

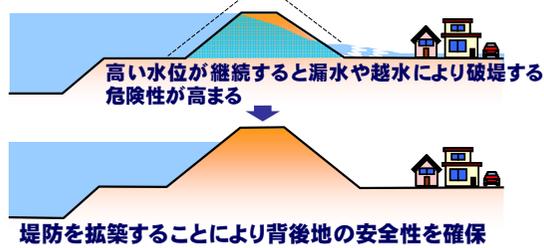
十勝川水系河川整備計画（原案） における当面の整備について

十勝川流域委員会（第10回） 平成22年3月2日

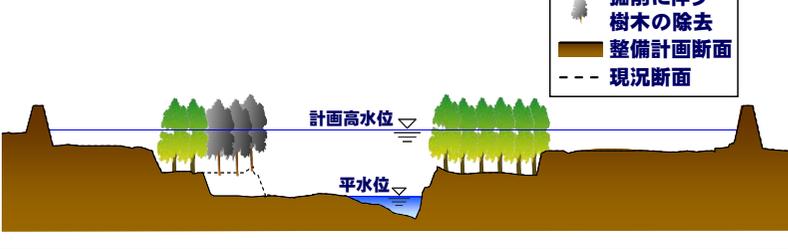
◆ 十勝川水系河川整備計画（原案）における河川整備の内容は、堤防の整備、河道の掘削、堤防の保護対策等である。

堤防の整備

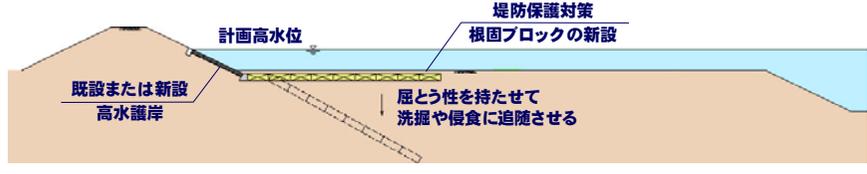
【堤防の拡築】



河道の掘削



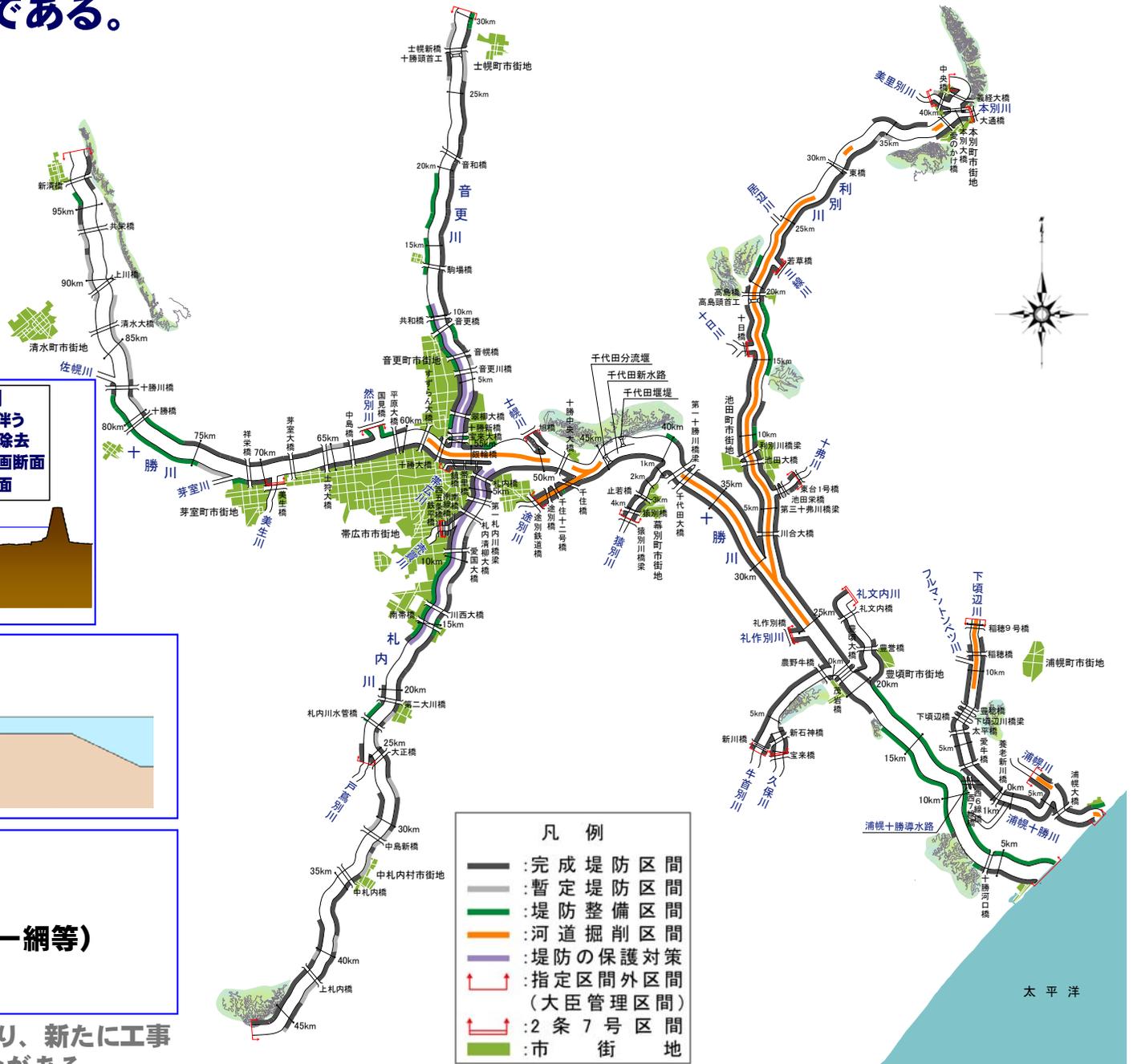
堤防の保護対策



その他の整備

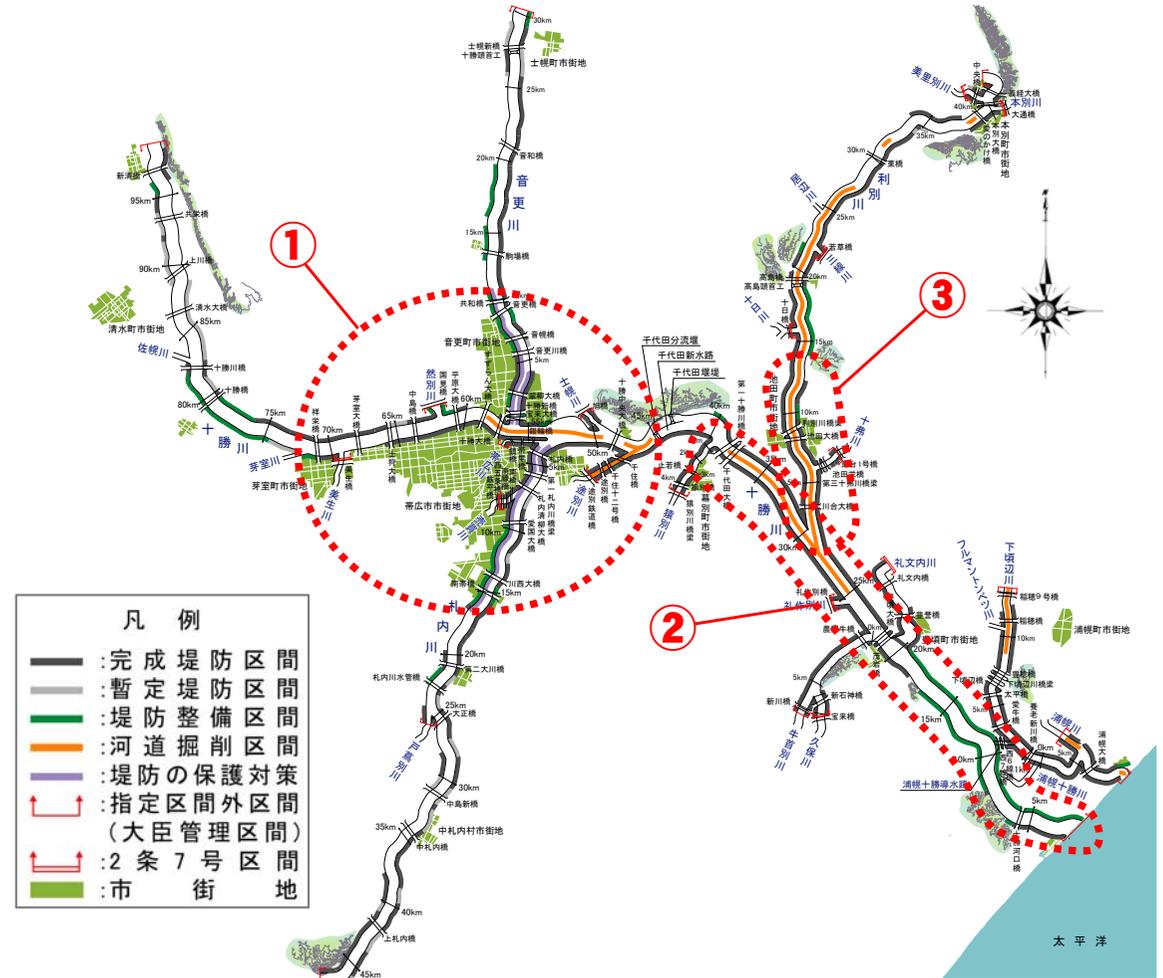
- ・ 内水被害を軽減するための対策
- ・ 広域防災対策（水防拠点、光ファイバー網等）
- ・ 地震、津波対策 等

注) 実施にあたっては、今後の測量結果等により、新たに工事が必要となる場合や内容が変更となる場合がある。



◆ 当面の整備（概ね5～10年）は、次のように考えている。

- ① 人口・資産が集積する帯広圏における治水対策を優先的に実施。
- ② 十勝川本川の治水対策を優先する。特にはん濫域の広い下流部の治水対策を上下流のバランスを考慮しながら実施。
- ③ 利別川においては、十勝川本川とのバランスを考慮しつつ、下流部の池田町市街地区間の治水対策を優先的に実施。
- ④ その他、地震・津波対策、広域防災対策等については、地域と連携しながら、必要に応じて実施。



	整備メニュー	当面の整備 (概ね5～10年程度)	～ 30年程度	
①帯広圏	堤防の整備・河道掘削	相生中島地区等	→	
	堤防の保護対策	札内川左岸等	→	
②下流部	河道の掘削		→	
	堤防の整備		→	
③利別川	河道の掘削		→	
その他 上流部等	堤防の整備等		→	
④地震・津波、広域防災対策等			→	